

◆団体基本情報

No.	17	種別	公益財団法人	団体名	公益財団法人仙台市市民文化事業団			
所在地	〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘三丁目27番5号							
電話番号	022-276-6778		FAX番号	022-276-2108		所管 部局	文化観光局	
団体ホームページ		https://ssbj.jp/					文化振興課	
代表者職氏名		理事長 金子 雅			設立年月日		昭和61年10月1日	
基本財産等		971,936 千円		市の出捐額（割合）		1,000,000 千円 （ 102.9 %）		
設立 目的	文化芸術の振興、郷土の歴史の継承及び生涯学習の支援に関する事業を行い、もって魅力ある市民の文化創造と豊かな市民生活の実現に寄与することを目的とする。							
事業 概要	市民の文化創造及び郷土の歴史に関する活動等の支援及び育成、普及啓発及び情報発信、交流及び協働の促進、資料の収集・保管及び調査研究、生涯学習の支援、文化施設及び生涯学習施設の管理運営、その他目的を達成するために必要な事業。 （公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律別表（第2条関係）第2号及び第9号の公益目的事業に該当）							
評価対象決算期		令和7年4月1日～令和8年3月31日						

◆人員等の状況

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①常勤役員数	2 人	3 人	3 人
うち市派遣	2 人	3 人	1 人
市退職者	0 人	0 人	2 人
②常勤役員平均年齢	60.0 歳	58.6 歳	59.6 歳
③常勤役員平均年間報酬	— 千円	— 千円	6,209 千円
④職員数	156 人	164 人	163 人
うち市派遣	1 人	2 人	2 人
市退職者	5 人	5 人	9 人
⑤職員平均年齢	45.6 歳	45.4 歳	45.6 歳
⑥職員平均年間給与	4,831 千円	4,702 千円	5,038 千円

◆主要財務データ

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①当期経常増減額	△ 17,317 千円	9,252 千円	1,289 千円
②当期経常外増減額	35 千円	15 千円	51 千円
③当期一般正味財産増減額	△ 17,282 千円	9,267 千円	1,340 千円
④一般正味財産期末残高	104,700 千円	113,968 千円	115,307 千円
⑤指定正味財産期末残高	1,039,818 千円	998,814 千円	971,936 千円
⑥正味財産期末残高	1,144,518 千円	1,112,782 千円	1,087,243 千円
⑦長期借入金残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆市の財政的関与

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①市からの補助金	496,051 千円	542,278 千円	838,321 千円
②市からの委託料(指定管理料含む)	1,596,475 千円	1,640,371 千円	1,688,061 千円
③市に対する収入依存度	92.71 %	91.62 %	91.50 %
④市からの借入金	0 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和7年度事業費
せんだいメディアテーク管理運営事業	平成4年度から令和8年度まで仙台市教育委員会から指定管理の指定を受けて、施設の管理運営を行った。	657,338 千円
仙台市青年文化センター管理運営事業	平成4年度から令和8年度まで仙台市から指定管理の指定を受けて、施設の管理運営を行った。	363,908 千円
仙台文学館管理運営事業	平成4年度から令和8年度まで仙台市から指定管理の指定を受けて、施設の管理運営を行った。	205,207 千円
仙台国際音楽コンクール事業	第9回仙台国際音楽コンクールを開催したほか、入賞者によるコンサート等関連事業を実施した。	335,832 千円
仙台クラシックフェスティバル事業	より多くの方にホールで聴く生演奏の魅力を届けることを目的に2006年（平成18年）に事業団設立20周年記念事業として立ち上げた事業。当年度に19回目を開催した。	87,696 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	財団設立から39年を経て培ったノウハウやネットワークを活かして、公益的使命、基本方針及び中期経営計画に基づいた多様な事業開発、文化芸術の普及啓発や人材育成、文化芸術関係者や市民活動の支援・助成、安全に安心して利用できる施設管理運営等に取り組んだ。	財団が策定した「第3次中期経営計画（2025-2027）」に基づく取組みを着実に推進していた。また、策定から2年目を迎えた「仙台市文化芸術推進基本計画」に関する事業についても意欲的に取組み、本市の文化芸術の振興に寄与していただいた。今後も本市との連携を深めながら、専門的な知見を活かし、公益性の高い事業の企画・実施に引き続き取り組んでいただきたい。
2. 業務・組織管理	財団が有する経営資源を効果的に活用できるよう、組織間及び施設間での連携強化を図り、地域文化を担う人材との連携を進めながら各事業に取り組んだ。業務管理については、質の高いサービスの提供と適切な財団運営を目指し、必要な改善等に努めた。	効果的な事業展開を図るため、財団内はもとより、地域の文化芸術関係者との連携を深めながら、各種事業を着実に推進していただいた。今後も適切な組織運営に努めるとともに、人材育成にも継続して取り組んでいただきたい。
3. 財務状況	国や助成団体からの助成・補助、企業協賛等の外部資金の活用を積極的に行っている。寄附の受入れについては利便性向上のためオンライン決済方法を用意した。また、事業手法の開発、外部資金獲得手法の開発、発信力の強化、人材育成等、財団の基盤整備にかかる費用の準備を目的とする特定費用準備資金の積み立てを行っている。	外部資金の積極的な活用その他、個人向けの少額寄附制度の創設など、積極的な財源確保に努められた。今後も、外部資金の獲得及び寄附受け入れのための広報に尽力するとともに、資金調達手段の開発に努め、安定した経営・財務基盤を維持していただきたい。

4. 今後の方向性及び課題	令和7年3月に策定した「第3次中期経営計画（2025-2027）」に定める3つの運営方針に基づき、令和7年度から9年度までの3年間にわたり各種事業に取り組んでいる。財団設立40周年を迎える令和8年度には、例年以上に多彩な事業の実施を予定しており、周年記念事業の企画・運営を通じて得られるノウハウやネットワークを今後の事業展開や人材育成に生かしてまいりたい。 また、市の文化芸術推進基本計画の基本理念を踏まえ、アウトリーチ活動や文化芸術の社会的活用に取り組む地域団体等への助成をはじめ、多様な主体と連携しながら、あらゆる市民が文化芸術に親しめる環境づくりや市民一人ひとりが文化芸術に触れる機会の充実に努めるとともに、広域からの集客につながる事業の展開など、多様な視点から地域の文化芸術の振興と発展に寄与してまいりたい。	財団が策定した「第3次中期経営計画（2025-2027）」の初年度として、計画で定めた成果指標を概ね達成するなど、着実な推進が図られた。今後も、本市等との連携を一層深めながら、「楽都」「劇都」をはじめとする本市の総合的な文化芸術振興により一層力を入れるとともに、交流人口の拡大にも資する事業展開に積極的に取り組んでいきたい。
----------------------	--	---